いわき民報

[illegible]一部一円五十錢

發行所 いわき民報社

解散目ざし攻防戰
總選擧は一月中旬か

政府、与黨の主張する臨時國會解散は遂に見送られ、民自黨及び社會、民主、國協の四黨協定に基き、臨時國會で審議未了に終つた法案及び追加豫算案を十三、四日頃までに可決して直ちに解散することに確定、第四國會は解散を前提として何れも自黨を有利に導くべく与黨、野黨間の激しい攻防戰が展開されることになつた

第三區展望
關内、齊藤、松井の三氏有力

第三區は新自由黨の小澤專七郎氏が小管形務所收容に依つて選擧戰線に大きい動きを來し、目下確定している候補者は民自黨總務關内正一、立憲養正會總務齊藤[illegible]代議士及び社會黨中央執行委員松井政吉氏の立候補は決定し、三氏は既に當選圏内にあるものと見られている、三氏のほか各黨の噂に上る候補者は次の如く

△民自黨

過般行なわれた縣教育委員選擧に見事當選しながら辭退した相馬郡選出縣議佐藤弘毅氏が相馬を地盤として出馬確定、双葉郡からは第一國會で敗退した刈野村長刈宿偶風氏と同じく第一國會選擧に敗れた[illegible]大臣秘書官鈴木松吉氏が立候補する空氣濃厚であるが相双二郡を地盤に三名出ることは民自黨に取て少なからず不利益であるため本部の公認如何に依つて佐藤、刈宿、鈴木三氏のうち何人か一名に落つき、相双二郡で一名確保を目ざして必勝を期することになろう

△社會黨

前回は松井、大井川兩氏の出馬に依つて苦杯をなめた社會黨は松井政吉氏の必勝を期して松井氏一本槍で進むことに決定した、噂に上る炭勞[illegible]長武藤武雄氏が[illegible]勞組に推されて出馬することになると松井氏も苦戰を免れぬことになろう

△民主黨

小澤代議士が脫黨して新自由黨を結成、最後まで踏み止つていた[illegible]、馬目兩縣議も縣會における教育委員二選をけいきに民自黨入りをしたので民主黨の勢力は全く解消、同黨石城郡部は解散した、目下のところ立候補を名乘るものは無いが反國協内派一部の人々は田村運動具店主田村五郎、東洋纖維社々長長谷川角五郎氏を擁立すべく運動をつづけて居るが、兩氏は起意のない模樣である

△諸派

佛教社會黨の新妻清一郎氏は前回敗れているが、再出馬するものと見られている、その他は目下噂によるものはない

同志的結合強化を圖る
民自支部役員補充

過般行なわれた民自黨平支部結成式で顧問、副支部長、幹事長、同副、幹事等全支部長から推薦されたが、縣支部の役員である[illegible]、馬目兩縣議をはじめ鈴木市長派の市議等一同連名で役員辭退の申出でがあつたので、支部では同志的結合を強化するため、急速に役員を補充することになつた

辭退者氏名◎顧問遠沼部輔、馬目武之助◎副幹事長、石山一治◎幹事、高木きよう、松本金市郎、永野孝夫、柏原秀藏、金成國雄、江尻忠平、長瀬源三郎、鈴木政一、関場金一、齊藤角治、小松茂、鈴木恒精、橘正光、花澤久一郎、吉野[illegible]

大井川縣議に逮捕狀

縣會議員大井川正巳氏に三十日突如逮捕狀を發せられ今明日中に逮捕される見込み

警察と呼べば出る
あすから防犯に平局が協力

平局では從來常備消防との間に専用線によつて火災報知の迅速化をはかつて大きな効果を收めて來たが、今度は更に警察署との間に専用線を架設し十二月一日より利用を開始することになつた、強盗、脅迫、殺人などあつた場合は「警察」と受話器に申出れば直ちに市署へ連絡する仕組で防犯上大いに期待されている

通信事業の利用懇談會

平局では二十九日午後一時半より公會堂日本間に各關係者の参集を求め通信事業利用者懇談會を開き意見の交換を行つたが、特に次の點を強調した

【郵便】市内通常配達は一號便午前八時、一號便午後一時、市外集配午前八時、市内通常取集は午前九時、午後零時半、同四時、同五時四十分、市内小包配達午前八時市内、包取集、午後三時となつている

【電信】最近電信の復興に力を入れたため終戰當時に較べて所要時間も五十%短縮、電報も六十七%位減つている、このため平より東京まで二時間、五分、仙台一時間半、水戸一時間十分、福島一時間四十分、郡山一時間半、名古屋四時間二十分、大阪四時間、熊本五時間十分、札幌四時間五十分と所要時間が減つて來た

【電話】事故に關する申告は「主事」又は課長（電話二千台）へ直接申出て欲しい、通話は市内外を問はず發話するようにして頂きたいとの注文があつた

パンの加工は開花亭へ
平市五丁目
電三四二

田邊代治、木村特

審査員決る
中學辯論大會

郡PTA連合會主催本社後援の郡市新制中學校辯論大會は既報の如く四日午前十時より平第二小學校で開くがこの審査員は次の如く決定した

駒木根忠三（小名濱）馬上愛（大野）坂本惣次郎（草野）千葉正（飯野）渡邊イシ（四倉）新家芳榮（平）野澤武藏（平）

お百姓さんを招き音樂會
七日第四小校で

平第四小學校では七日午前九時半より講堂にお百しようさんを慰問するため市内各中小學校の應援を得て生産感謝音樂會を開く

五日までに登錄
みそ、醤油登錄制改る

市ではみそ、しようゆ等配給制の一部改正に伴ひ從來の月極登錄制度が廢止となり左の要領で今般新に登錄店に登錄する樣要望している◇登錄は十二月五日まで各登錄店にすること◇今般の登錄期間は半ヶ年間で來年五月卅日まで◇登錄人は店舗を固定すること◇原票は家庭用品購入通帳の別番號券正副を使用する、みそは別番號券B號（十七頁）しようゆはろ號（十三頁）食油はG號（十六頁）[illegible]はA號（十五頁）のそれぞれ切取り各號第一號券に世帶主印すること、欄外余白に住所氏名を記入のこと

大豆供出奬勵
供出者は福引券

食糧品配給公だん福島支所、油脂配給公だん福島縣支所、醤油工業協同組合、福島縣搾油工業協同組合が共催で醤油味噌等の配給量を少しでも消費者に對し多く配給しようとする目的から醤油原料の大豆を確保する爲[illegible]から一月二十日迄延べ二ヶ月間、全農家に對し大豆一俵供出に付大豆福引券一枚、食油二合を配給することにしこの福引で供出する農家を[illegible]んでいる、なお福引抽せんは一月十四日行い發表する、賞品は左の通り

一等總桐三段タンス（十さを）
二等大型柱時計（三〇台）
三等掛時計（百個）
四等蛇ノ目傘（一百本）
五等[illegible]（千個）
六等ノート（一万冊）

庭球納會
五日開催

スポーツシーズンの折から共に樂しもうと今度平クラブ、曉クラブ共催で十二月五日午前九時から市營テニスコートで兩クラブの合同庭球源平を繰く事になつた、また兩クラブ混成軍による紅白試合を行い終つて懇親會場所未定を開く豫定である

特配の肉類が不良
需要期を控え問題化

市では九月米穀節用として豚牛肉の特配を姙産婦、胸部疾患者たちに行つて來たが最近の需要期を迎えて質目不足や品質低下のものを販賣する等業者の不正行爲が頻發しているとのうわさから市當局では今後も持續して特配券を發行すると配給對象が病人姙婦等身体に與える影響を考え留意もしているが今後受配者にもしその樣な事態があれば早速く市經濟課に通知する樣協力を要望している、現在發行している配給券は一枚につき豚牛肉ともに上肉五十匁づゝで豚肉（五十匁）七十円、牛肉（五十匁）六十円で普通市場で販賣されている協定價格より平均五十円程安くこの負擔は縣下の食肉組合で負擔するものであるから業者の不正行爲は考えられるものでないと[illegible]では努めているが最近經濟課に電話により惡質行爲の事例を訴えて來ていることから市では重視しているわけである、この登錄券は毎月四百五十枚づゝ出しているが利用範圍が狹いので十二月からは大幅に利用範圍を擴大する計畫を樹てている

縣漁業運營委員會
會長に黑川氏就任組織

漁業資材の確保を狙つて今度縣下各漁港川並に業種別に二十名からなる縣漁業運營委員會を組織し、會長に黑川喜一郎氏（江名）副會長吉田喜吉氏（小名濱）他に小名濱より副會長を選出することに決定して發足した、今後は各縣に劣らぬように漁業資材獲得に同委員會が主体となつて動き漁がいても資材がなくて獲れないという樣な事の起らぬよう同委員會が中心になつて努力する、なお事務所は當分平水産事務所に置く豫定

配給だより
姙婦にバター

市配給課では一日より一週間姙産婦（五ヶ月）と結核患者に四百ポンドの雪印バターを配給する、一人一ポンドで價格は四百四十四円四十五錢、配給所田町松月堂、現品は十二月中に入荷する

毛布と蚊帳

市では引揚者、戰災者並に生活困窮者に二日より先着順で毛布百四十枚（價格九百十六円と千百四十五円の二通り）蚊帳二十五張（千二百六十三円と千五百七十四円の二通り）を配給する、希望者は印鑑と引揚又は戰災者證明書を市社會課へ持參すればよい

ガス木炭大量生產
平營林署で工場新設

平營林署では消費者用木炭配給の不足に鑑み此の際少しでも多く配給しようと兼ねて立案中だつた「ガス木炭の大量生產」を目指し此の方面に大馬力をかける事にしガス發燃器を大幅に營業所用に向け現在木炭を部下の二分の一を使用してゐる交通關係所に對しては一切ガス薪と切換へて此の分を消費者用向けにする事に內定した、なお同署では直ちに小川營林內に中型工場の總工費十五坪敷地と三馬力モーターを揃え資金一百八十萬円を以て月產千二百トンの工場を建設する事に決定、當管內の實施は來年八月からとれる豫定でその間緊急補給を必要とする六大都市に差向け漸次緩和されたら直ちに當管內に於ても賞與する運びにすると營林署では語つた

五人組の列車強盜
磯原關本間で

二十九日午後八時半ごろ下り二三七列車（平着午後九時三十七分）が磯原―關本驛間を進行中、突然前方車輛に五人組列車強盜が現れ金品を強奪したと乘客のしらせに水戸車掌區勤務車掌松本万之助君（二六）が關本驛で助役に連絡、いち早く植田と平市署に急報した平市署では同列車の到着をまつて嚴重調べたが被害者が判明しなかつたため犯人は捕らなかつた、なおしらせてくれた乘客は湯本驛で下車してしまつたので詳細は不明

犯罪のかげに女
窃盜の關口に懲役一年

磐城村下市萱無職關口[illegible]（二七）に係る窃盜罪の公判は二十九日地裁平支部に言い判事係りで開廷懲役一年の判決言渡しがあつた、全人は四月中旬頃から九月中旬頃迄に約八回に亘り全村農業協同組合倉庫を破り玄米一俵二斗、麥四斗を窃取しその殆どを同所の[illegible]關根マツヨ（三五）に貢いでゐたものである關根は子供四人を抱え病弱の多病者なる夫を持つた爲に惡い事とは知りつゝつい子供に苦しい想をさせない爲にと自分の身を賣つたと語り深い改心の色がうなだれていた

落盤で壓死

好間村上好間炭礦斜坑七號に三十日午前二時半ころ落盤あり作業中の先山今井芳森（三七）さんは下敷となり死亡した

麻雀で檢擧

四倉町仲町[illegible]之助（五三）は去る二十五日賭けマージャンで四倉町署に檢擧されたが、取調べの結果、同人は十一月一日から十四日までに前後七回にわたつて四[illegible]

口論の末喧嘩

江名町折戸漁夫高橋義雄（三二）は去る二十一日午後七時ごろ同町中之作理髪業曾野留光さん方で同字漁夫荒木仁吉（二二）今野正（二三）の兩君と些細なことから口論し喧嘩の末今野方の西洋カミソリで荒木の背中と今野の前胸部にそれぞれ全治三週間の重傷を負わせたことが判り名町署に檢擧二十九日送檢

過失致死で 石田送檢

湯本署では去る三月二日恐喝された時過つて逆に相手の內郷町無職根本正三（一九）の短刀を奪つてさし殺し、その後手配の目をくぐつて逃走をつゞけていた小名濱町生れ[illegible]村居石田[illegible]（二〇）が更に一日十若松市でスリを働き現行犯で同署に擧げられたので二十七日身柄を引取り二十八日「過失致死」で送檢した、宮の根本正三は三日にされて九日に死亡したものである

定期貨物輸送
五日から

磐城貨物平營業所では平東京間定期貨物輸送を開始し地方產業の興隆に資すべく諸準備中であつたが愈よ十二月五日から輸送を開始することになつた

いわき寸言

電話で警察と呼べばすぐ出ることになつた、犯人の逃げぬうちに駆けつける準備はよいか

○闇祭たる世相ツノをためて牛を殺す勿れ

正確。安價
時計の店
サービスの街銀座街
サービスの店
誠光堂
平市銀座街 電982

東京封切に次いで
堂々東北封切
巨星
エイゼンシュテイン演出の
イワン雷帝
四日より六日まで特別公開
第二イワキ
電話[illegible]二番

◎移轉お知らせ◎
新 平市南町三三（馬目誠方）
舊 平市五丁目一一
右の通り移轉致しました
平生活協同利用組合
組合長 日野利春
專務理事 草野利男
主事 中島武彦

天田愚庵と平藩學

② 史談會總會と史料展示會

史談會員　鈴木光四郎

◆史料展示會◆

中食後竹城史談會の史料展示會を開いた。山崎與二郎氏所藏の南治、寛政、元和の平城の圖、菊地氏の城跡の圖、鈴木氏のきん師の圖、飯野氏の八幡神社奉納の額、永山氏の古文書、[illegible]氏の愚庵の書などであった。[illegible]氏の所藏の書は次の二幅であった。

[illegible]寄題あし荻州愚月一痕

湖信暖[illegible]在郎（愚庵）

幾度たく[illegible]非君子佩

微風接[illegible]

[illegible]心肺[illegible]上荷

符風各[illegible]（愚庵）

◆寛政六年御ふれ書（飯野民所藏）◆

これは當時の[illegible]のようなもので科學的な搜索方法のなかつた時の人相書など微に入り細に入つて面白いので紹介することとする。

寛政十月二十八日夜[illegible]田町西村町家[illegible]〇長川江[illegible]の人相書

一、年二十六歳位より[illegible]ははげ候方相見候

一、[illegible]町の內三番丁九兵衛伜

一、丈中ぜいより少し高き方にてやせ候方

一、面體細く色赤き方

一、ひん耳常體

一、眼大きく眼中するどき方

一、眉毛こき方

一、鼻筋通り高き方

一、唇厚くそり候方

一、歯なみこまかなる方

一、言葉早ことに荒き方

一、平生物静かなる方

一、その節の衣類は[illegible]ふ木綿大縞に一の字に三つ石の紋所に附け候布子を着し紺茶立縞小倉織の帯をしめ花色木綿[illegible]し紺文羽の股引をはき在罷候

右の通りの者有之候にてはその所にとどめ置き御料者は御代官、私領は領主地頭へ申出でそれより抱え江戸小田切番所へ申入れべし

右人相書を及早及聞候はばその段申し出るべく候　尤家來又者等を入念吟味を遂ぐべく候若し隱し置き脇より相知れ候はば可曲事候

◆元祿七戌年正月忌服令（永山氏所藏）◆

これは當時、身内の者が死亡したときの服喪の規定であつて今日の大政官布告につながるものが多いと思われるのである。

父母	忌五十日	服十三ケ月
養父母	〃三十日	〃五ケ月
嫡母	〃十日	〃一ケ月
繼父母	〃十日	〃一ケ月
離別母	〃五十日	〃十三ケ月
夫	〃三十日	〃十三ケ月
妻	〃二十日	〃三ケ月
嫡子	〃二十日	〃三ケ月
末子	〃十日	〃一ケ月
養子	〃十日	〃一ケ月
夫の父母	〃三十日	〃五ケ月
祖父母	〃三十日	〃五ケ月
曾祖父母	〃二十日	〃三ケ月
高祖父母	〃十日	〃一ケ月
伯叔父母	〃二十日	〃三ケ月
兄弟姉妹	〃二十日	〃三ケ月
嫡孫	〃十日	〃一ケ月
末孫	〃三日	〃七日

◆覺（永山氏所藏）

これは天明の大き饑に飢餓の人々多くその飢料手當の覺であつて川部村のものである

一、金拾兩

右は當卯年大凶作に付飢人有之候間右夫食手當被差出金子書面の通り請取申候

隆山外記手代

天明三卯十一月　平石喜作

卯起郷平次

川部村　德左衛門方

◆出生人覺帳（永山氏所藏）◆

これは當時の出生届の控帳であつてそのうちには懷胎まであり今日の姙婦手帳に似ているのである。生れる子の安泰を願つたものである。十六歲の女房もあつて早期結婚のあとがしのばれる。

文化五年[illegible]川部村[illegible]出生人覺帳

名主　德左衛門

◆懷胎覺◆

一、當辰十一月迄七ケ月　德右衛門（四十九歲）

但二人目　女房かん（三十一歲）

一、當未九日迄七ケ月　百姓庄右衛門（二十六歲）

但惣領　女房すぎ（十六歲）

◆死失人覺帳（永山氏所藏）◆

これは當時の死亡及び失踪届書である。

文化十一年　死失人覺帳

川部村德左衛門

一、戌三月除右衛門娘はる

一、五月源藏女房きん

◆小兒養育覺（永山氏所藏）

これは小兒が生れると支給されたもので今日の家族手當のようなものである。當時すでにこの制度があつたことは注目すべき點である。

文化五辰年

小兒養育[illegible]手當[illegible]の通

文化五年　一、金二兩也　川部村

文化六年　一、金壹兩二分

內一、金四兩也　養育料

一、金二兩三分臨時御手當

◆申渡書（永山所藏）◆

これは名代官寺西藏太の申渡書であるが、米の供出、生活[illegible]など各方面にわたつて周到に注意されている。長文になるので次のように要約するが今日の政治經濟問題と比較するときいつの時代にも同じことが繰返えされていて意味深いものがある。

一、御年貢米は正しく差し出すべし

一、農業に精出すべきこと

一、賭博は停止のことを

一、[illegible]にて[illegible]は許さざること

一、[illegible]をなすべきこと

一、往還にて[illegible]を見たるときは往進の事

一、役人御用廻村のさい御馳走せざること

以上は展示會に出品された藏品の概要である。展示會は三時閉會終了したので一同飯野氏に感謝しつつ饒武殿を辭した。晩秋には珍らしい暖かであつたこの日も、もはや夕陽が八幡神社の森に照りさしていた。（二十三年十一月二十二日記）

㊇　平市五丁目　[illegible]屋商店　電九・九九

教育者の喜を語る

先生の卵達を圍む座談會

去る十九日で醫專校六ケ月間にわたる學科教習を終え目下その最後の仕上げとして實地に先生學を學ぶため市內第一小學校に配屬になつている臨時教員養成所の本年度第一回修了生即ち先生の卵たちを圍み生れて初めていかめしい教壇に立つて始めてつかんだ現實の教育觀につき二十七日午後一時より同校々長室に座談會を開いた出席者は男二名に女九名の卵達とこの座談會開催に好意を示した黑田第一小學校長や橋本同校教官それに約半年以上この卵達の良き父母となつて指導の任に當つた吉田教官ら二十名ばかり一招じられて先生の卵達に初めて接してその余りにあどけない顏の多いのにいささか驚き年齡を聞くと最高二十一才から十八歲、この様な[illegible]に未經驗の者が果して文化日本を擔うに足る小國民の養成にあたることが出來るだろうかの疑問が先づ生じ貴問の第一彈

生活することに追われず教育に專念出來る自信が果してありますか？

と放つ、これに對し

私達は安月給とか豐かな生活とかは余將考えません。勿論ストにも絶体反對です私生活は第二の問題で私達のすべてを擧げて幼い子供達の教育に盡したいのです

と頰を高調させながら口を揃えて答えた、まるでこんな質問が無禮かのように—、「何故教員を志望しましたか」には、

私は復員後次、上野の地下道で浮浪兒を見た時一人でもこんな浮浪兒があつては日本の再建は出來ないと思い、これをなくすのは教育の力によるほかはないと考えて教員志望を決意したのです

と答えるのは二十二歲の男教生、女教生の一人は

私は日頃から子供が大好きで、こんなに好きな子供を一人でも良い子にしたいと考えて志望したのです

と女らしく愛情から出發したことを明かにした、次いで臨教時代の机上の先生學と現實の先生學との相違を尋ねると

「初めて教壇に立つて子供達がこんなに可愛いものかと親愛感を感じたことは臨教時代には考えられませんでした、現實に子供達に接して初めて教員の喜びを知つたのです」

と答え更に

毛のスエターがのび切つて終う程子供達にまつわりつかれて始めて先生の喜びがわかりました

と續けた

一番困つた事

質問は更に實際に生徒に面して一番困つたことに移る

体操などでいくら指揮や號令をかけても聞こえないのか唯ワア〳〵騷いで整頓してくれない時が一番困りました

と女教生はさすが恥しそうだしかし「第一小校の先生方が實に親切にリードして下さるので今ではもうそんなこともありません」とうれしそう、「この第一小學校について氣のついたこと」を問うと

先生同志が非常に仲が良いこと、建物が新しい爲か清新の氣にあふれていること生徒達が清潔にみえること

等々であつた、しかし同校橋本教官の話によれば生徒の清潔の點は未だしの模樣で二十六日同校一、二四一名の生徒に不意打ちに行つた「清潔檢査」では

◇下着の汚れているもの男五十名女三十一名

◇しらみの保有者、男十八名、女は實に二百二十六名

となつているとのことで更に一層家庭の協力を求めている最後に强教えの注文を尋ねると

もつと實地の面で多く指導して欲しかつた、學科半年に實地を半年やつてほしい

の聲が壓倒的に多く、一般家庭への注文としては「出來るだけ多く家庭の方の參觀を希望したい」とのこと、更に實地に當つて感じた各自教生の反省としては「自分達の勉强の未だ足らないことをしみ〴〵感じた」と言う點であつた

各教室の生徒達が何等につけても直ちに議論を挑戰して自主的な討議を初める學の機子に接するとこれでは自分が負けてしまう、もつと勉强せねばと言う氣が强くなります

と[illegible]する姿は誠に頼もしいものであつた、この様な絶えざる反省がある限りいかに年が若くても世情に未經驗でも必ずや立派な先生としてスタート出來ると初めの疑惑をすつかり解き晴々しい氣持で同校を辭したのは午後三時すぎであつた

投票は頗る順調

けふ市農調委選擧執行す

市の農業調整委員選擧は三十日午前八時から第二、第四小學校で行われ、定員十五名に對し三名が推せん候補しているので活潑な四戰が展じられるものとみられているが午前十一時現在の投票情況は第二小學校では有權戶數三百六十八戶のうち百六十戶が投票、第四小學校では三百四十七戶のうち百戶が投票しておりすこぶる順調な出足をみせている、なお開票は三時ごろの豫定

小名濱農調

結局選擧となる

小名濱町農業調整委員は定員二十名は選擧[illegible]名を推薦となつた小名濱川部落、釣り台ひ上町側より八名、農村部落より十二名と言ふ申合を除し一區一、二區一、三區二、四區三、芳川町一▽部落側よりは岡小名二、大原二、住吉一、南富正一、島一、野田一、岩出、北城、金成各一名宛と決定立候補することに折合をつけたが、農部落よりの候補者選擧實施に際して鈴木一男氏が出品となつたので結局地に波瀾を卷き起し、全町に影響を及ぼし選擧を余儀なくされ結果を注目されている

町政百般の懇談會

湯本青年會が開く

湯本町青年會（會長鈴木[illegible]氏）では二十八日午後六時より全町役場會議室に比佐湯本町長を始め各町會議員有志を囲み例の[illegible]氏選擧にからむ町民[illegible]問題から近く完工をみる新制中學校建築や町立圖書館、公民館設立、或は決定をみたもの〃何時實現出來るかわからないとされている農業綜合對策等々いつ[illegible]町政問題について活潑な懇談會を開いた右につき三十日比佐町長は

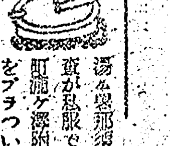
この様な會は大變結構と思う、唯、集る人が極めて少なかつた、今後も開かれる懇談だからもつと多くの人に出席して眞劍な町民の聲をきゝたい

と語つた

出炭計畫結論せず

一日最後的に協議す

本年度第四、四年期の炭鑛出炭計畫に付ては先月二十五日以來九回に亘り平地方炭鑛管理委員會生産部會委員會の手により慎重審議して來たつたが、石炭局の最終案に對し勿來、磐城、田川、福田、富士古河の五炭鑛は品質向上増進策による水選機の實施により從來より量が下廻るから受け入れきれないと主張し當日目標八十九万六千六百トンに對しこれから炭鑛の減炭一万五千七百五十トンが穴になるのでこの對策に就き去る十五日第六回平地方炭鑛管理委員會を炭礦會館に開き協議した結果、組合側委員の目標低下を是認したに反し會社側との間に結論が生れず十二月二日午前十時半から市石炭會館に再度委員會で開き最後的調整を協議することになつた



湯本署那須巡査が私服で全町湯ケ澤附近をブラついていると見知らぬ男がニヤ〳〵しながら近よつて「金を貸してくれ」と言う、さては恐喝かと考えて一應話をきくと「實は先月初め安達の刑務所の營倉場を破つて逃げては來たものゝどうも金を費い果したから兄弟すまねえが貸してくれ」と言う、驚いた那須巡査そこは巧く調子を合せて「では明日正午に湯本驛で」と約束、直ちに刑務所に照會すると確かだとのこと、早速次の日何なく御用となつたが、何故那須巡査にさも知人の様に金を貸してくれと泣状を明して頼んだのかと尋ねると

實は刑務所の御役介になつた時の相棒ぢやなかつたかと考えたもんですから……

へエ、お見それしやんした

にさすがの那須巡査ガツカリしかしこの男の言うのも道理刑務所を逃げた後十月二十八日平市内の自轉車をカツ拂つて二日ばかり湯本署の世話になつた時に那須巡査を見初めたものと判つた、この男安達郡[illegible]町生れ住所不定無職佐藤務（二三）が本名、二十八日送檢された

キモノ洋服
買入
氣輕に御相談ください
きつと御滿足の上値で……
福屋
平驛前シロガネ大通り
（驛より左へ五軒目）

本場自慢の牛豚肉
親切本位
平驛前
綠屋商店へ
電話　七九四番

多少なりとも
配達致します
鳥肉專門店　鳥秀
平市五丁目[illegible]電六二六

◎お知らせ◎
おなじみの小瀧鑛泉はまた五年振りで開業いたしました爽快な秋皆様の御來湯をお待ちいたします
▲湯治には…日歸り…滞在にも[illegible]つております
▲宿泊には…御滿足いただけますやうこゝろがけて居ります
▲御會合などには…便利に設備して御座います、どうぞ御利用下さいませ、またどのやうにも御相談申上げます
小名濱ー小瀧鑛泉旅館（持込大歡迎）
電一〇三番
（バスは湯本ー小名濱間小瀧下車）

小兒マヒ治療
赤外光線　早川治療所
石城郡大浦村上仁井田
四倉驛下車十五分（電四倉二二番）

建築美術、床廻り用材
銘木ト家具
一般建築木材ノ御用命に應じます
万　織田銘木店
平市二丁目[illegible]（電話[illegible]三五）

タンスと鏡台下駄
嫁入道具一式は
植田町の　丹野商店へ
石城郡植田町本町三ー二
電話植田一〇一番（工場）二五七番